

54 A 312-2
233 P-610

特許庁

実用新案公報

実用新案出願公告

昭31-19213

公告 昭 31.12.8. 出願 昭 29.12.11

実願 昭 29-44147

発 案 者 山 本 満 一

広島市舟入川口町715ブロック
住宅17号

出 願 人 東 洋 工 業 株 式 会 社

広島県安芸郡府中町宇新地8047

代理人 弁理士 原 田 秀

(全 2 頁)

Vベルト伝動装置に於けるVベルト冷却装置

図 面 の 略 解

第1図は本案の従断面図、第2図は一部を従断面した正面図である。

実用新案の性質、作用及効果の要領

本案は駆動軸1上のV四車2と、被動軸3上のV四車4とを、Vベルト5を以て伝動するようにしたVベルト伝動装置に於て、之等V四車及Vベルトを吸気口6及排気口7を設けた包箱8を以て包圍し、且上記V四車2に適當の翼片9を設けて成るものである。

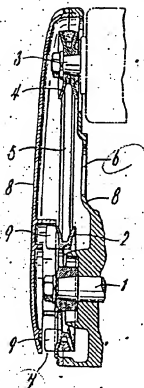
従来特に車削用Vベルト伝動装置に於ては、V四車及Vベルトに塵埃等が甚しく附着するだけでなく、之を巻き込んで故障を著し或は危険を伴う虞もあつたものであるが、本案のように之等V四車及Vベルトを包箱8を以て包圍するときは、こ

の欠点を完全に省略することができるものであつて、この場合包箱内に発生する熱は、V四車の回転に伴ひ翼片9を以て排気口7より包箱外に排出し、吸気口6より冷気を包箱内に吸入するため、Vベルトは絶えず冷却されて発熱によるVベルトの耐久性の低下を著しめるようなことのないものである。

最 良 課 求 の 範 圍

図面に示すように駆動軸1上のV四車2と、被動軸3上のV四車4とを、Vベルト5を以て伝動するようにしたVベルト伝動装置に於て、之等V四車及Vベルトを吸気口6及排気口7を設けた包箱8を以て包圍し、且上記V四車2に適當の翼片9を設けて成るVベルト冷却装置の構造。

第1圖



第2圖

